

2017年度(平成29年度) 学校関係者評価報告書



2017年9月

学校法人シモゾノ学園

国際動物専門学校

【 教育理念 】

「心を大切に、感謝の気持ちで自然を思い、人と動物の真の共存共生」

【 教育方針 】

■ 専門性の追求

「動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人財を育成します。」

■ 道徳性・人間性の育成

「感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人財を育成します。」

■ 動物福祉の実践

「動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し、広く社会に貢献できる人財を育成します。」

学校法人シモゾノ学園 学校関係者評価報告について

今年度の学校関係者評価委員会の開催により、学校に関連する業界・企業の方々から動物業界を主な活躍の場とする職業社会人として必要とされる能力に加え、期待される能力・人間性・社会人力等について、ご意見・ご指導を賜りました。また、学校運営に関しましては的確かつ、さらなる学校運営の質の向上が図れるであろうご意見も頂戴いたしました。教育活動や学校運営の質をさらに向上し続ける上で、大変に貴重なご提案や意見交換ができる本取り組みの重要性を改めて認識させていただくと共に、本取り組みにお力添えを頂きました全ての方々に心より感謝申し上げる次第でございます。頂戴したご意見・ご提案等を効率的に活用させて頂き、改善を重ねて参ります。今後も目的と目標と手段の最適化を常に考え、学生一人一人がそれぞれの人生を心豊かに楽しめるよう、専門的知識力・技術力に加え、生きて生きる力を養い高める学校であるよう、教職員・学校飼育動物一同、心を1つに力を合わせ、一心に努めて参りますので、今後ともより一層のご指導・ご支援を賜りますれば幸いです。

2017年9月

学校法人シモゾノ学園
理事長 下 園 恵子

1. 学校関係者評価委員

学外 委員	氏 名	所属・関係等	備 考
1	酒井 健夫	公益社団法人 日本獣医師会 副会長 / 日本大学 名誉教授	委員長
2	田中 健司	株式会社西武ペットケア 代表取締役	委 員
3	齊藤 勉	東京都立東大和南高等学校 主任教諭	委 員
4	丸山 一夫	国際動物専門学校 卒業生	委 員
5	赤川 朱美	国際動物専門学校 在校生保護者	委 員

学内 委員	氏 名	所属・関係等	備 考
1	下 藺 恵子	学校法人シモゾノ学園 理事長、国際動物専門学校 校長	国際動物専門学校 自己点検・評価委員会 委員長
2	下 藺 僚章	学校法人シモゾノ学園 副理事長、大宮国際動物専門学校 校長	国際動物専門学校 自己点検・評価委員会 委員
3	下 藺 利依	学校法人シモゾノ学園 学園本部 理事長補佐	国際動物専門学校 自己点検・評価委員会 委員
4	今西 孝一	学校法人シモゾノ学園 学園本部 教務・学生部 部長	国際動物専門学校 自己点検・評価委員会 委員
5	山下 真理子	学校法人シモゾノ学園 学園本部 教育担当顧問	国際動物専門学校 自己点検・評価委員会 委員
6	吉川 鉄平	学校法人シモゾノ学園 学園本部 募集・広報部 部長	国際動物専門学校 自己点検・評価委員会 委員

2. 学校関係者評価委員会 次第

会 議 名	第1回 学校関係者評価委員会
開催日時	2017年7月31日(月) 15:00 ~ 17:30
場 所	大宮国際動物専門学校 1号館 3階 会議室
議 題	<ol style="list-style-type: none">1、開式の辞(理事長・校長 下園恵子)2、委員紹介3、学校関係者評価委員会 委員長の選出4、概要説明(副理事長・校長 下園僚章)5、学校施設案内6、2017年度 自己点検・評価の報告・説明7、意見交換8、閉式の辞(副理事長・校長 下園僚章)

会 議 名	第2回 学校関係者評価委員会
開催日時	2017年9月1日(金) 15:00 ~ 17:30
場 所	国際動物専門学校 本館 4階
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1、開式の辞（理事長・校長 下菌恵子） 2、学校施設案内 3、2017年度 学校関係者評価について 4、意見交換 5、閉式の辞（副理事長・校長 下菌僚章）

3. 学校関係者評価の報告

1. 教育理念・目標		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④ 3 2 1
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1
1	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1

【自己点検・評価】

① 課題・今後の改善方策

- 「学生の手引き」・「保護者会用手引き」・「保護者説明会の資料(スライド)」については記載項目に不足があり、改善が求められる。
 - 理念・目的・育成人材像については上記各媒体の中に取り入れ、特色・将来構想については学校案内書、ホームページへの記載で周知とする。
- 保護者会に欠席した保護者への情報共有・発信等が不足しており、改善が求められる。
 - 保護者会の欠席者に対する保護者用手引きの配布などで広く周知を図る。

② 特記事項

- シモゾノ学園としては「学校案内書」・「ホームページ」・「学生の手引き」・「保護者用手引き」・「保護者会用の資料(スライド)」に理念・目的・育成人材像についての記載があり、学生、保護者に十分に周知されている状態を「4」評価とする。

【 学校関係者評価 】

<p>■ 「学校案内書やホームページ等に理念・教育目的・将来構想等が詳細に記載されており、適切に周知されていると考える。その上で、さらなる周知を図る施策案として、校内の主要な場所への掲出や学内LANを活用することを提案する。また、理念等の浸透定着に成果を収める取り組みをした個人やチームを表彰する制度を設けることも提案する。」</p> <p>→ 事務部が担当して2017年度中に各校舎のエントランス等の主要な場所に教育理念・教育方針を掲出いたします。</p> <p>→ 学園本部が担当し、年に1度、功労者・功労チームの表彰を行っている取り組みの中で、選定時の選定項目に改めて定め、一定の成果を収めた者を表彰し、浸透定着する。また、学生に対しては、校長による表彰を継続して行う。</p> <p>■ 「育成人財像・教育目標の立案はしっかりと関連業界との連携を図り続けることで質の向上を行うことと、将来像を伝える施策として各業種にてベテランの域にいる卒業生と学生・保護者等が交流してより理解が深まるように図ることを提案する。」</p> <p>→ 校長を中心に全教職員で今後も教育課程編成委員会を通して、関連業界・企業と情報交換・意見交換を行い、教育の質の向上を行う。</p> <p>→ 教務・学生部が担当し、就職指導・支援として、今後も各業種の活躍する卒業生を招き、学生との交流を行う。</p> <p>また、自然環境・動物飼育学科やしつけ・トレーナー学科の学習成果発表会に保護者は招いているが、他学科においても保護者が学生の学習成果等の様々な情報を得られる機会を設けられるように検討する。</p>

2. 学校運営		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
2	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	④ 3 2 1
2	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
2	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
2	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
2	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1

2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	④	3	2	1
2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	④	3	2	1
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	④	3	2	1
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④	3	2	1

【自己点検・評価】

① 課題・今後の改善方策

- クレームを含む様々な問い合わせを内容の性質による区分けと対応部署が定められているが、より適切な対応ができるように、クレームを含む様々な問い合わせに対する対応基準となるマニュアルの整備を行い、様々な問い合わせに学校基準でより対応できるようにする。
- 問い合わせ・クレーム対応マニュアルの整備を行う。

② 特記事項

- 本務教職員と兼務教員との教育等に関する情報共有に関して、何をいつどのように行うのかの基準を設ける必要がある。

【学校関係者評価】

■ 「専修学校としての基準等に基づき、学校運営は適切に行われていると考える。また、学生にとって教育を受ける際に、教職員が専任教員か兼任教員かの区別はないので、全教職員間で本校の教育目的・教育目標に沿って情報共有を行っている点は評価される。自己点検・評価にて報告されている通りに、問い合わせ・クレーム対応マニュアルの整備を行うことを望む。その上で、コンプライアンスの定義や必要性等を学生へ教育し、学生が卒業後に知識不足等においてトラブルを起こすことがないように取り組むことを提案する。」

- 事務部が担当して2017年度中に問い合わせ・クレーム対応マニュアルの整備を行う。
- 学生に対する教育として、インターネットやSNSに関する取り扱いは入学時に全学生に対して行っている。コンプライアンスに関する教育は現状でも全学生に行っているが、教育内容の質をより高められるように教務・学生部が担当し、検証・改善を行う。

3. 教育活動		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
3	4	動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	④ 3 2 1
3	8	動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4 ③ 2 1
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④ 3 2 1
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	④ 3 2 1
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	④ 3 2 1
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4 ③ 2 1

3	17	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	④	3	2	1
3	18	動物関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
3	19	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	④	3	2	1
3	20	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1

【 自己点検・評価 】

① 課題・今後の改善方策

- シラバスの共有を効率よく周知できる環境整備を行う必要がある。
 - インターネットにて共有できる方法を検討する。
- 授業評価の評価体制を整えるにあたり、①学生からの授業アンケート・②授業担当者自身のセルフチェック・③授業参観の3つの評価の項目の一部共通化を行う。
 - 評価表の再整備を行う。
- 教職員の研修報告書の書式の再整備を行う。
 - 研修報告書の再整備を行う。

② 特記事項

- 特になし。

【 学校関係者評価 】

<p>■ 「教育理念に基づき、教育活動が組織的、系統的、効果的に行われると考えられ、また、各授業科目におけるシラバスの整備や教職員の能力開発・向上は評価される点と考えられ、卒業生の立場から考えるとなおのこと教育の充実が感じられる。また、インターネットを活用したシラバスや授業資料の配布に取り組もうとしている点は評価される。これからの教育環境の整備を考えると、e-ラーニングや学内LANを利用した教育環境の整備を図る必要性があると考える。一方、インターネットの情報管理と情報セキュリティーガイドラインの策定・徹底及び本校の管理体制の整備を図る必要が生じると予測され、情報管理宣言やプライバシーマークの取得も一助となると考える。」</p> <p>→ 学園本部が担当して情報管理の質の向上を更に行えるように、スクールプライバシーマーク等の取得を検討する。 また、e-ラーニングや学内LANの整備についても引き続き、学習成果の向上を図りながら検討する。</p>
<p>■ 「教育の質を高めるにあたり、評価体制の整備は当然であるが、参画する教員の意識の向上が不可欠であり、教職員研修等を通してその役割をより理解する必要がある。また、評価・改善に関する取り組みの質を高める中で、これらのシステム化とシステムの電子化を推進することを提案する。」</p> <p>→ 学園本部が担当して今後も年数回行っている教職員研修を通し、教職員の意識の向上と専門知識・技術の向上を行う。 また、各研修の終了後に、振り返りを行い、研修自体の検証と改善を重ね、教育の質の向上を行う。</p>
<p>■ 「学生が身に付けるべきことを考えると、先のコンプライアンスに関する点に付けかわえて、情報セキュリティーに関する事項も身に付けておくべき点だと考える。また、変化の激しい動物業界の現状を伝えられ、様々なことを自ら情報収集して自分なりの考えを持ち、卒業後の社会にて自ら行動できる力を身に付けるとさらに良いと考える。その際に、学校での教育が卒業後の社会でどのように役立つのかをストーリーとして伝えたり、教職員の実体験を盛り込むなどのライブ感がある授業を行い、学生の学習成果をより高められるように努めることも望む。」</p> <p>→ 教務・学生部が担当して入学時に全学生に対して行っている情報セキュリティーに関する教育内容の質をより高める取り組みを行う。 また、今後も7つの習慣Jや社会的基礎力プロジェクトを通して人間力・社会人力に関する教育を行う。 対象となる学生の性質に合わせた指導方法として、インストラクショナルデザインをもとに、アクティブラーニングを活用した指導を今後も行う。</p>

4. 学習成果			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	④ 3 2 1
4	2	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	④ 3 2 1
4	3	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 ③ 2 1
4	4	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	④ 3 2 1
4	5	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 ③ 2 1

4	6	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	④	3	2	1
4	7	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

【自己点検・評価】

① 課題・今後の改善方策

- 教職員の評価を行うにあたり、教職員のコンピテンシー(必要能力)の作成が必要。
 - 教育目標を達成するのに必要な教育担当者のコンピテンシーの整備を順次行う。
- ニーズ調査として、企業と卒業生に区別けるが、調査数と精度を高める。
 - 調査数を高められる取り組みを行う。

② 特記事項

- 特になし。

【学校関係者評価】

■ 「学習成果に関する基準の明確化・評価・改善等は適切に行われていると考えられる。その上で、学習成果を確保・コミットメントする点で履修する授業科目やシラバスの公開はより必要性が増すと考えられる。また、教育の質の向上において、評価結果に対する問い合わせ・苦情を避ける上からも評価方法・評価基準等を公開したり、評価の仕方に関する検証・改善を適切に行える仕組みを設けることを提案する。」

- 学園本部が担当して職業実践専門課程の設置基準に基づき、今後も授業科目・シラバス・評価方法をインターネットや学生の手引きにて情報公開する。

■ 「就職先から高い評価が得られるためには知識に加えて技術の実践力やコミュニケーション能力が必要不可欠と考える。技術力やコミュニケーション能力等の繰り返すことによって身に付く力をしっかりと教育することを望む。また、学生の学習成果に大きな影響を与えるものは教職員の能力であるとする。社会・企業から高い評価が得られる人財育成が今後も行えるように、社会・企業の情勢や欲する人財像を適切に捉え、最適な教育を行い続けることを望む。」

- 校長が中心となって全教職員で今後も教育課程編成委員会を通して、関連業界・企業と情報交換・意見交換を行い、教育の質の向上を行う。また今後も学生の学習成果を定期試験だけでなく、一定期間ごとに行う確認テスト等にて把握し、学生が教育目標を達成できるように教育を行う。

5. 学生支援			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	3	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
5	4	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
5	5	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④ 3 2 1
5	6	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	7	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
5	8	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	9	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1

【 自己点検・評価 】

- ① 課題・今後の改善方策
 → 卒業生からの相談記録をまとめ、卒業生支援に活用できるように取り組む。
 → 相談記録をまとめ、共有できる環境整備を行う。
- ② 特記事項
 → 特になし。

【 学校関係者評価 】

<p>■ 「学生支援は十分に行えていると判断され大きな強みと考える。今後も学生から広く意見を求め、支援体制を整備し続けることを望む。また、60年の伝統を生かした卒業生と一体となった業界への取り組みや卒業生からの学校支援に期待する。」</p> <p>■ 「学校の情報だけでなく、業界の情報や求人に関する情報等の情報発信・共有・交換のハブステーションとなり、社会・企業や卒業生にとって有益な取り組みを行うことで学校の強みとすることを提案する。」</p> <p>→ 卒後セミナー等の取り組みにて、学校と卒業生が一体となって動物業界をより良くできるように活動は行っているが、さらに、動物業界に関わる人・団体にとって価値ある取り組みができるように学園本部にて検討を行う。</p>

6. 教育環境		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
6	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	④ 3 2 1
6	2 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	④ 3 2 1
6	3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか。	4 ③ 2 1
6	4 防災に対する体制は整備されているか。	4 ③ 2 1
6	5 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1

【 自己点検・評価 】

① 課題・今後の改善方策

- 本務教職員に対する教育訓練や安全管理に関わる対応は行えているが、兼務教員に対する安全管理に関わる対応をより強化する必要がある。
- 兼務教員に対する安全管理に関わる事項を整理し、講師会等にて共有する。

② 特記事項

- 特になし。

【 学校関係者評価 】

<p>■ 「教育環境の整備・管理・防災体制は適切に行われていると考える。その上で、教育の質の向上と安全管理のための避難訓練と非常時での初動計画は教育機関にとって最優先課題である。常に適切な対応が盛り込んである安全管理マニュアルを整備し、兼任教員を含めた全教職員が十分に理解し、実践できるように提案する。また、授業再開に向けたBCP(業務継続計画 Business Continuity Plan)の策定も提案する。」</p> <p>→ 学園本部が担当し、随時、安全管理マニュアルの更新を行うとともに、兼任教員を含む全教職員がマニュアルを適切に理解し、有事に行動できるように取り組む。また、BCPの策定を検討する。</p> <p>■ 「学校施設や設備は最新の物も多くあり、その環境にて学習できることは非常に効果的と考える。引き続き、より実践的な力が身に付くように必要な整備を望む。また、学生に授業をしてもらいたい魅力溢れる教員の方々はたくさんいらっしゃるが、1年間通して教壇に立つことは逆に難しいと考えるので、スカイプ等のインターネットを利用した遠隔授業が行えるような環境整備をすることも検討を望む。」</p> <p>→ 学園本部が担当し、e-ラーニングや学内LANの整備についても引き続き、学習成果の向上を図りながら検討する。</p>

7. 学生の受入れ募集		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
7	1 学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	④ 3 2 1
7	2 履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④ 3 2 1
7	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	④ 3 2 1
7	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④ 3 2 1
7	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
7	6 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	④ 3 2 1
7	7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	④ 3 2 1
7	8 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	④ 3 2 1
7	9 学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

【 自己点検・評価 】

① 課題・今後の改善方策

- 卒業要件、取得可能資格についての要件は学校案内書および情報公開の学校基本情報にて説明しており、また対面では学校説明会等での説明はしているが、具体的な評価手段及びその基準の詳細説明までは至っていない。
 - 入学相談室マニュアルに取得資格に関する評価手段及び基準を明記・学内共有し、説明を行う。

② 特記事項

- 特になし。

【 学校関係者評価 】

- 「学校案内書の内容、学生募集活動時の高校生と保護者への対応、入学者への説明状況等を通じて、学生募集と学生の受け入れは適切であると考えられる。引き続き、個人情報等の取り扱いに関する学生への教育や授業科目ごとの評価方法や卒業要件の判定方法等は分かり易いデータに明文化し、兼任教員を含めた全教職員が適切に理解した上で教育や学校運営を行うことを望む。」
 - 学園本部が担当し、関係者に必要とされる情報を明文化し、情報公開できるように引き続き取り組む。
また、兼任教員を含めた全教職員が適切に理解した上で学校運営に引き続き取り組む。
- 学納金の妥当性において、財務状況の妥当性より適切であると考えられる。学納金の有益な活用を図る上で、授業単価の算出・設定等の取り組みをすることを提案する。
 - 事務部が担当し、学納金がより有益に活用できるように引き続き取り組む。
- 「学生募集活動において、入学対象者が入学したいと思えるようなストーリーを見える化する必要があると考える。ワークライフバランスも含み、社会・企業から高い評価が得られている卒業生や活躍する卒業生をロールモデル(憧れの姿)として入学対象者に伝えることも有益と考える。」
 - 募集・広報部が担当し、学生募集時に高校生や保護者が本校の卒業生がどのような活躍しているのかを学校案内書やオープンキャンパス等にて引き続き効果検証をしながら取り組む。

8. 教育の内部質保証システム			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	④	3	2	1
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	④	3	2	1
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	④	3	2	1
8	7	自己点検・評価結果を公開しているか	④	3	2	1

【 自己点検・評価 】

- ① 課題・今後の改善方策
 - 個人情報保護に関する規程を整備する。
 - すでに作成している個人情報保護に関する規程(案)をもとに、整備を行う。
- ② 特記事項
 - 特になし。

【 学校関係者評価 】

- 「適切であると考え。その上で、内部統制の適切化はその重要性和取り組み内容の質の向上が年々増しており、必要に応じて外部有識者と意見交換しながら学校運営を行うことも有益と考える。また、教職員全員参加の下で、価値観の統一・情報の共有・適切な情報の利用と保護等に関する教職員研修を通じた組織力の醸造を行い、適切な学校運営が行えるように環境整備を行うことを提案する。」

→ 学園本部が担当し、引き続き取り組みを行う。

9. 財務			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【 自己点検・評価 】

- ① 課題・今後の改善方策
→ 情報公開に関する規程の整備を行う。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 学校関係者評価 】

■ 「適切であると考え。その上で、財務情報公開に関する規程の整備を求める。」
 → 事務部が担当して2017年度中に規程の整備を行う。

10. 社会貢献・地域貢献			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

【 自己点検・評価 】

① 課題・今後の改善方策

- 地域に対する公開講座は開講実績もあり評価できるが、教育訓練の受託について本校の対応の検討を行う。
 → 教育訓練の受託に関する制度等の理解を深め、本校での対応を検討する。

② 特記事項

- 特になし。

【 学校関係者評価 】

■ 「専門知識と技術を有する教職員を多数有し、高く評価される豊富な標本や教材を保有しているので、これらの活用による定期的な公開講座や地域の小中学生に対する教育の提供は評価される。引き続き、学校の教育資源を活かした社会貢献・地域貢献を望む。」
 → 学園本部が担当して引き続き関連業界や地域社会が求める社会に貢献し得る取り組みを行う。